

いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の実績について

那須塩原市が本年開催した「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の成果を取りまとめたので情報提供いたします。

多くの皆様に多大なるご協力を賜り、栃木県内で 2 番目に多い 8 競技を開催し、盛会のうちに終えることができました。

成果 1. 「市民総参加」による国体の実現

（1）ボランティアや中高生が活躍

- ・ボランティア 登録人数 948 人、実参加人数(延べ人数) 1,368 人
- ・中高生の競技補助員(延べ人数) 中学生 355 人 高校生 1,251 人

→選手や競技団体からも、那須塩原市民のホスピタリティが素晴らしかったとの声

→12 月 13 日に競技補助員として活動した高校生と「みちたろう T0 わくわくトーク」を実施

（2）児童・生徒の参加 応援観戦人数 2,414 人

（3）市内企業・団体等から多くの協力・協賛 約 1,900 万円相当

成果 2. 「地域経済活性化」への寄与

（1）事業費(平成 29～令和 4 年度) 約 23.8 億円

（2）全国各地から多くの来訪者

- ・競技参加人数(延べ人数) 約 2.9 万人
- ・宿泊人数(県配宿センターを通して宿泊した延べ人数) 約 9,000 人
- ・宿泊者の消費支出 約 3 億 6 千万円

（3）那須塩原市の魅力発信

- ・多くの来訪者に、那須塩原市の観光資源、農畜産物、特産品、文化遺産を P R

成果 3. 「ゼロカーボン・プラごみゼロ国体」への挑戦

（1）ゼロカーボンへの挑戦

- ・競技会場で使用する電力を、市内の小水力発電で充電した電気自動車から供給、または再生可能エネルギー由来の J-クレジットによりカーボン・オフセット

（2）プラごみゼロへの挑戦

- ・那須塩原ブランド認定品の赤松材を用いた経木や、紙製の弁当箱の使用
- ・「おから」と「再生プラスチック」を原料とした資料袋、ごみ袋の使用

今後の展開：国体後の「レガシー」の継承

（1）スポーツ・健康のまちづくり「那須塩原モデル」

- ・国体でつながった競技団体などと、大会誘致やスポーツツーリズムを推進
- ・本市のスポーツ施設、観光資源及び地域食材の強みを活用した合宿誘致

（2）ゼロカーボン・プラごみゼロへのさらなる挑戦

- ・国体を契機として、駅伝大会など市の他のスポーツイベントでも、使用する電力を市内の小水力発電で充電した電気自動車から供給するなど、さらに展開

（3）ブランド力の向上

- ・国体で提供するために開発した地元食材を利用したメニューなど、さらなるブランド力の向上を目指す

1 各競技の実施状況

本大会

競技名	会 場	期 間
サッカー	キョクトウ青木フィールド（少年女子）	10月3日～4日
ソフトテニス	石川スポーツグラウンドくろいそ	10月7日～10日 ※6日開始式・監督会議
馬術	地方競馬教養センター	10月6日～10日 ※5日監督会議
ゴルフ	ホウライカントリー倶楽部（成年男子）	10月5日～7日 ※4日監督代表者会議
	塩原カントリークラブ（女子）	
	西那須野カントリー倶楽部（少年男子）	
トライアスロン	戸田調整池周辺特設コース	10月2日 ※1日競技説明会
ポッチャ	三和住宅にしなすのスポーツプラザ	10月29日～30日
キッズトライアスロン	那珂川河畔公園周辺特設コース	8月28日
さいかつぼーる	三和住宅にしなすのスポーツプラザ	9月11日

〔参考〕リハーサル大会

競技名	会 場	期 間
馬術	地方競馬教養センター	6月4日～5日
トライアスロン	戸田調整池周辺特設コース	7月24日

2 各競技の参加人数（延べ人数）

競 技	選手・監督	大会関係者	観覧者	その他	合計
サッカー	224	355	1,625	0	2,204
ソフトテニス	894	1,715	5,705	100	8,414
ゴルフ（3会場）	1,455	1,499	1,722	50	4,726
トライアスロン	273	624	743	50	1,690
馬術	1,455	3,722	4,786	200	10,163
キッズトライアスロン	122	92	250	0	464
さいかつぼーる	170	76	40	0	286
ポッチャ	435 ※介助者含	440	130	250	1,255
合 計	5,028	8,523	15,001	650	29,202

その他：アトラクション・お成り関係者など

3 市民参加の概要

選手・監督	選手・監督としての出場者 国体 31 人、障スポ 11 人
ボランティア	登録者 948 人 実参加延べ人数 1,368 人
企業協賛等	令和3年度 14 団体(個人1名含む) 7,330,207 円相当 令和4年度 34 団体 11,748,776 円相当 合計 19,078,983 円相当
児童生徒の活動	競技補助員 中学生 355 人 ※期間中延べ人数（ソフトテニス、トライアスロン） 高校生 1,251 人 ※期間中延べ人数（サッカー、ソフトテニス、ゴルフ 計 1,606 人 馬術） 都道府県応援のぼり旗 329 枚 歓迎装飾花いっぱい運動プランター育成 1,710 基 市内全児童生徒による牛乳パック再利用紙応援メッセージカード記入 わくわく☆ハリラ応援ランチ！「国体応援給食」の提供、手巻き海苔パッケージを再利用した装飾品（ガーランド）の作成
児童生徒の応援観戦	応援観戦人数 2,414 人 サッカー 小学校 11 校 中学校 2 校 1,089 人 ソフトテニス 小学校 2 校 中学校 2 校 428 人

	馬術 小学校 7 校 626 人 ゴルフ 中学校 2 校 義務教育学校 1 校 271 人
地域の活動	花いっぱい運動参加自治会数 19 自治会
福祉事業所の活動	弁当用箸袋折込作業委託 おもてなし料理

4 那須塩原市オリジナルの取組

環境配慮 「ゼロカーボン・プラごみ ゼロへの挑戦」	【CO₂ 排出削減】 ・競技会場で使用する電力を市内の小水力発電で充電した電気自動車から供給（トライアスロン競技（リハーサル大会・本大会）キッズトライアスロン、1 年前イベント、炬火イベント） ・競技会場で使用する電力の CO ₂ 排出量を再生可能エネルギー由来の J-クレジットによりカーボン・オフセット（トライアスロン以外の競技） ・競技参加者の移動及び宿泊に伴う CO ₂ 排出量を、地域の NPO による排出削減の取組（非市場流通型クレジット）によりカーボン・オフセット（ソフトテニス競技） ・ゆ〜バス（公共交通）の利用促進（期間中、競技会来場者の無料乗車を実施） 【プラごみ削減】 ・那須塩原ブランド認定品の赤松材を用いた経木や、紙製の弁当箱の使用 ・「おから」と「再生プラスチック」を原料とした資料袋、ごみ袋の使用
おもてなし料理	・那須拓陽高校の生徒が東京白金台の(株)八芳園のアドバイスを受けて開発した、地元食材を使用したオーストリアの焼菓子の提供（6 会場で 8 回） ・ブランド豚を使用した豚汁の提供（1 会場で 1 回） ・セルフ施設（社会就労センター）による地元食材を使用した焼菓子等の提供（7 会場で 15 回） ・馬術競技会場において市茶道部会・裏千家淡交会による呈茶（5 回） ・斡旋弁当メニュー
特産品	・市畜産振興会による牛乳のふるまい（5 会場で 8 回） ・いちご生産者によるいちごカップのふるまい（1 会場で 2 回） ・婦人会による地元特産品の饅頭、洋菓子等のふるまい（5 会場で 6 回）
文化・芸術	那須野ヶ原疏水太鼓 トライアスロン競技 競技説明会 キョクトウ青木フィールド体育館 黒磯巻狩太鼓 ソフトテニス競技 開始式・監督会議 石川スポーツグラウンドくろいそ体育館 流響塩原太鼓 ゴルフ競技 監督・代表者会議 GUNEI 三島ホール いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会文化プログラム県主催特別企画事業「みんなで育むとちぎのたからミュージカル しもつけ王国物語」 令和 4 年 8 月 7 日(日)黒磯文化会館大ホール 入場者 500 人

5 宿泊人数

国体期間中に、配宿センターを通して那須塩原市に宿泊した人数 9, 210 人（延べ人数）
※期間中、外食の需要も増加（飲食店からの情報による）

6 輸送交通

バス 275 台（シャトルバス・計画バス） 市内業者数 6 業者（174 台）
※シャトルバス乗車人数 一般観覧者 15, 271 人
計画タクシー 113 台（県北タクシー協議会傘下 7 社、内市内業者数 3 社 85 台）
※タクシー乗車人数 選手・監督・競技役員等 270 人（内市内業者輸送人数 202 人）

7 弁当

支給弁当 8,867 個
斡旋弁当 2,384 個
弁当調製施設 6 社

8 事業費概要

人件費を除く（千円）

費 用	H29	H30	H31	R2	R3	R4	合計
施設整備費	25,478	700,000	12,320	8,250	433,026	483,819	1,662,893
大会運営費	1,626	1,814	7,048	8,975	62,929	630,545	720,601
年度計	27,104	701,814	19,368	17,225	495,955	1,114,364	2,383,494

〔施設整備〕

- H29 くろいそ運動場整備事業費 第3テニスコート新設整備測量設計業務委託
 青木サッカー場整備事業費 グラウンドB整備工事測量業務委託
- H30 くろいそ運動場整備事業費 第3テニスコート整備工事・照明設備設置工事、テニスコート管理棟耐震診断業務委託等、テニスコート備品
 青木サッカー場整備事業費 グラウンドB整備工事・屋外トイレ改修工事、屋外トイレ改修工事設計業務等
- H31 国民体育大会推進事業費 馬術競技会場基本設計業務、トライアスロン競技会場設計業務
 馬術競技会場測量等業務
- R2 国民体育大会推進事業費 馬術競技会場実施設計
- R3 国民体育大会推進事業費 馬術競技場整備工事等、馬術競技会場整備工事現場技術監督
- R4 国民体育大会推進事業費 馬術競技会場整備工事、トライアスロン競技会場整備工事

9 公式 LINE アンケート結果概要

○アンケート期間 令和4年11月1日～10日

○対象人数 13,103人

○回答率 4.72%

- いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会にどんな関わりを持ちましたか
 かかわった 58.49% 仕事以外で 28.92% 仕事で 22.46% 仕事と仕事以外どちらも 7.11%
 かかわらなかった 41.52%
- いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会においてどんなことに関わりましたか（仕事以外で）多い順
 観戦 35.78% ボランティア 15.83% 競技会の運営（役員等） 9.86%
 国体関連のイベント参加・開催 9.86%
- 心に残ったことは何ですか 多い順
 選手の活躍 30.03% ボランティア活動 14.17% 児童生徒の応援 9.12%
- 自由筆記から
 ・なかなか観ることのできない全国レベルの試合を生で観ることができて感激した
 ・ボランティアや協賛などで色々な方が大会を支えていた。中高生が、競技の補助をしていた姿も素晴らしかった。
 ・会場で応援観戦の温かさが素晴らしく最高だったと選手役員が喜んでいました。

10 参加者の消費支出見込み

宿泊者数9,210人×宿泊客一人当たりの消費支出平均39,520円※ 363,979,200円

11 レガシー

- ・国体にあわせてキョクトウ青木フィールドのサッカー場、石川スポーツグラウンドくろいそのテニスコート整備今後さらなる活用を推進
- ・スポーツ・健康のまちづくり「那須塩原モデル」
 大会組織や選手等の受け入れ経験を生かしたスポーツコミッションの運用
 国体によって繋がった競技団体などとのスポーツツーリズムの推進
 本市のスポーツ施設、観光資源及び地域食材の強みを活用した合宿誘致
- ・ゼロカーボンイベントの実施（使用する電力を市内の小水力発電で充電した電気自動車から供給等）
 駅伝大会など市の他のスポーツイベントにも展開
- ・ポッチャ 競技団体と連携し次年度に交流大会の実施にむけて検討される。
- ・サッカー 競技団体がレガシープログラムとして主に女子のサッカーイベントを継続して実施
- ・ゴルフ 市民ゴルフ大会の拡充
- ・おもてなし 全国から来訪された多くの方々に、市の観光資源、農畜産物、特産品、文化をPR